

07 山で若者が働く、イノベーション創発型の国産材産地の確立

政策提言先 林野庁、国土交通省、資源エネルギー庁

政策提言の要旨

成熟する森林資源の再生産に向けては、所得の向上により若者が林業現場で活躍し続けられる環境を整備する中で担い手を確保することが必要です。

また、新設住宅の着工数及び延べ床面積が減少する中、木材需要の鍵となる非住宅建築物での木材利用を推進することが必要となっているため、以下のとおり提言します。

【政策提言の具体的内容】

- 1 生産性の向上や資源の最大限の活用など林業事業体の従業員の所得向上に繋がる取組への支援を拡充することを提言します。
- 2 非住宅建築物の木造化・木質化を促進するための支援を拡充することを提言します。

【政策提言の理由】

- ・ 林業は、木材などの資源供給と地域経済の活性化に不可欠であり、二酸化炭素の吸収や水源涵養など環境保全にもつながる産業です。
- ・ 森林率が日本一の本県では、大型製材工場の整備などによる加工体制の強化や木質バイオマス発電施設の整備など、豊富な森林資源を余すことなく活用するための施策を進めてきた結果、県内の木材需要は大きく高まりました。
- ・ 今後、さらに成熟する森林資源の活用と再生産を進めるためには若者を中心とした担い手の確保が重要であり、林業従事者の所得向上に向けた経営改革モデルを作成し、その取組を支援しています。
- ・ また、新設住宅着工数の減少といった少子高齢化による影響を踏まえ、非住宅木造建築物の推進に向けて、CLT建築や高知県環境不動産などの取組を進めているところです。
- ・ 加えて、SDGsやカーボンニュートラル実現の観点から、持続可能な資源として木材の活用を望む企業は増加しており、再造林など環境に配慮した森林由来の木材という新たな価値を創ることにより産地としての競争力を強化し、県産材の外商を拡大するため、土佐材環境認証制度の構築を進めています。
- ・ こうした取組をさらに強化し、「山で若者が働く、イノベーション創発型の国産材産地」を実現していくため、木材需要を一層拡大することで森林資源をしっかりと活用し、若者が林業の現場で活躍し続けられる環境整備に必要な支援について政策提言を行うものです。

【高知県担当課】 林業振興・環境部 木材増産推進課・木材産業振興課